

KK01/02/03

スクラッチテスター (ISO 準拠 / ASTM 準拠)

フィルム・プラスチック・自動車内外装材・塗膜材料などを剛体ピンによって引っ掻き、“耐傷つき性（スクラッチ特性）”を評価する試験機です。

ASTM及びISO※において標準化された「荷重増加型スクラッチ試験」が行えます。

この試験により、「スクラッチ特性の定量評価」が可能となり

「塗装材料の研究」「傷発生のメカニズム解析」にご活用頂けます。

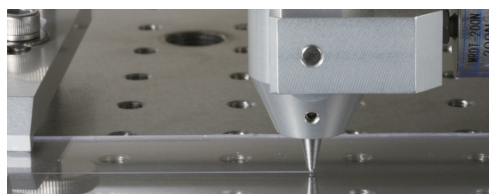


KK01 : 設定可能荷重 1~200N



KK02 : 設定可能荷重 1~50N

KK03 : 設定可能荷重 0.1~5N



特徴

●スクラッチ摩擦係数の算出

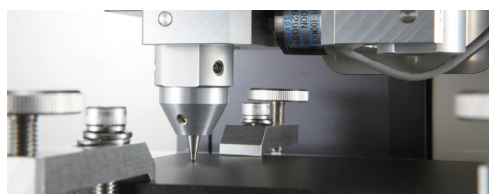
表面損傷と直接関連する物理量である、スクラッチ摩擦係数を算出し、スクラッチ機構の解明にお役立て頂けます。

●ティーチング機能

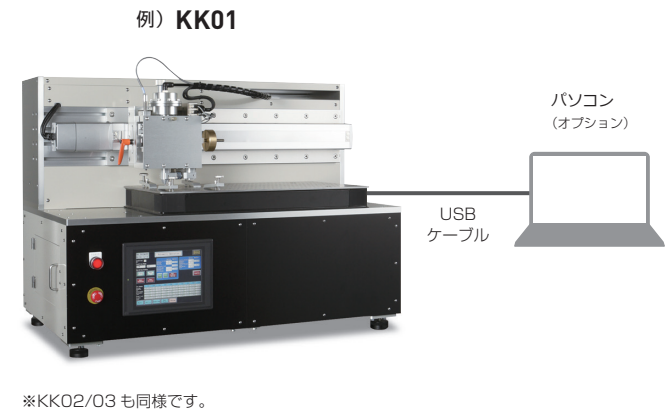
設定した初期・到達荷重の押し込み試験を行う機能。
これを本試験前に行う事で素早く荷重域の設定が可能。

●サスペンション機構

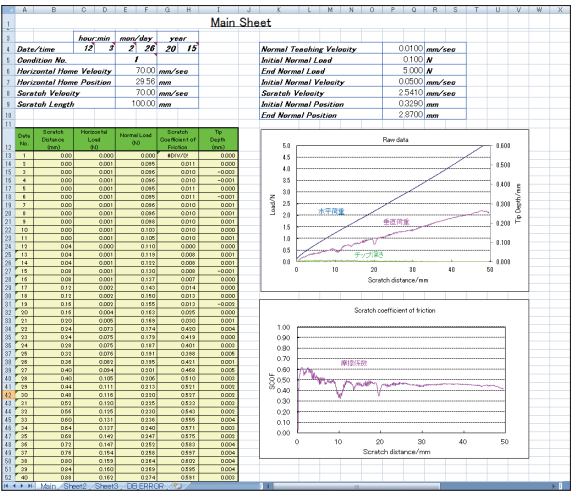
傷評価が難しいシボ形状のように、表面に凹凸を持つサンプルにおいても線形荷重増加性を損なう事なく試験が可能。



システム構成図



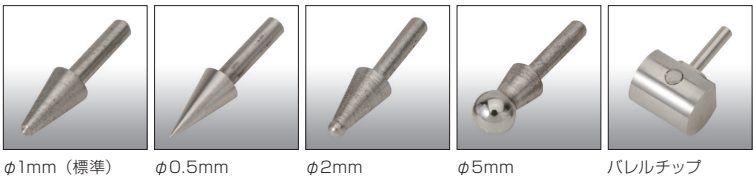
■ 計測ソフト画面例



チップラインナップ

標準φ1mm チップ以外にも、多種多様な傷の損傷（光沢傷、うろこ傷、切削傷等）を想定した評価をするために、様々なチップをご用意しております。またお客様の希望試験に合うチップのカスタマイズも承ります。

※φ1mm チップ以外は ASTM・ISO 準拠ではありません



KK01/02/03 スクラッチテスター

寸法／重量（概算）	KK01：W965 × D530 × H690（mm）／150kg KK02／03：W545 × D455 × H680（mm）／65kg
電源	AC100V、最大消費電力 60W
測定環境温湿度	10 ～ 40℃／30 ～ 70%RH ただし結露しないこと。 ※風及び振動の影響が少ない場所に設置すること
測定動作	測定方法：増加重方式 スクラッチ方向：左から右
スクラッチ荷重検出	検出器：ロードセル 垂直荷重：（KK01）1 ～ 200N （KK02）1 ～ 50N （KK03）0.1 ～ 5N 水平荷重（最大）：（KK01）200N （KK02）50N （KK03）5N 精度（フルスケール）：±0.5% 以下

スクラッチ距離検出	検出器：リニアエンコーダー 距離（最大）：（KK01）400mm （KK02／03）200mm
スクラッチ速度	（KK01）1mm／sec ～ 400mm／sec （KK02／03）1mm／sec ～ 200mm／sec
深さ検出	検出器：レーザー変位計
データ通信	データ転送：USB 測定結果点数：約 1000 点
試料寸法	（KK01）寸法：200×420mm（最大） 厚み：5mm（最大） （KK02／03）寸法：60×220mm（最大） 厚み：5mm（最大）

※ASTM：D7027-05／ISO：19252
本機はカトーテック（株）が U.S.Surface Machine Systems,LLC.(Patent No.7302831) よりライセンスを受けて製造販売しています。

⚠ ご注意 ● 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」または「注意書」をよくお読みください。

仕様内容につきましては、改良のため予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。

KatōTech

カトーテック株式会社 <https://www.keskato.co.jp/>

本社・工場：
〒601-8447 京都市南区西九条唐戸町 26 番地
TEL. 075-681-5244（代） 075-693-1660（営業部）
FAX.075-681-5243 E-mail. katotech@keskato.co.jp

上海事務所：日本加多技術有限公司上海代表処（和式漢字）
Room1604B 16F Feidiao International Building, 1065
Zhao Jia Bang Road, Shanghai, 200030 P.R. China
TEL. +86-(0)21-5178-1346 E-mail. shanghai@keskato.co.jp